

戦没者追悼式・慰霊祭が挙行されました

平成18年度川根本町戦没者追悼式及び慰霊祭が、10月31日小長井地区忠霊塔境内において、11月17日には上長尾地区忠魂碑境内において、それぞれ厳粛なうちに執り行われました。

追悼と慰霊の言葉

本日ここに御遺族各位の御参列の下、川根本町戦没者追悼式がおごそかに挙行されるにあたり、謹んで追悼と慰霊の言葉を申し上げます。

先の大戦が終わりを告げてから早くも61年余の歳月が過ぎ去りました。この歳月の流れは、あの戦争の日々を歴史の一こまに変えようとしています。

本日この戦没者追悼式に臨み、苦難に満ちた過去を偲びますとき、愛惜の思い胸迫るものがございませぬ。

今ここに、戦禍に倒れ祖国の礎とられました御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げるものでございませぬ。

特に、ご遺族の皆様は最愛の肉親を失われ、今日まで長い間深い悲しみと困難を克服し、平和で豊かな社会を築いてこられました。

そのご苦勞に対しまして、心から敬意を表するものでございませぬ。

終戦後の荒廢の中から国民一人一人が平和を願い、たゆまぬ努力と幾多の困難を克服し、平和で豊かな家庭と地域社会を築いてまいりました。

しかし、こうした中で今日の世界に目を転じて見ますと残念ながら未だ地域間戦争、民族戦争、テロ活動も鎮静化の方向にありません。最近では、北朝鮮の核実験が行われ、唯一の被爆国、平和を愛する日本としても断じて許すことのできない暴挙と、憤りを禁じえません。

再び戦争の惨禍を繰返すことのないよう、御霊の残された尊い願いを心に刻み、末永く後世に伝えなければなりません。

我が川根本町も合併後1年が経過したところであります。

町は、住民の努力により徐々に心ひとつに落ち着いてまいりました。

長島ダムでは、本年7月に、全国規模のイベント「森と湖に親しむつどい 奥大井接湖湖フェスティバル」が恵まれた自然環境のもと盛大に行われ、全国各地・流域の方々など多くの来場者で賑わいました。

また8月に行われました「日本カヌーフラットウォーターレーシングジュニア選手権大会」では地元選手が優秀な成績をあげ、川根本町の名を全国に轟かせました。

産業の部では8月に開催されました全国茶品評会普通煎茶10kgの部において農林水産大臣賞2点など多数が上位に入り、川根本町が産地賞を受賞するなど、「第60回全国お茶まつり」に花を添えることができました。

今後も町民皆様の御協力をいただきながら、全国に川根本町の名を知らしめるとともに、豊かな自然、お茶と温泉に彩られた、だれもが安心して暮らせるふるさとを目指し、新たな町づくりに積極的に取り組んでまいります。

私たちは皆様とともに平和を祈念し、町民が真の豊かさを実感でき、安心して暮らせる町づくりの推進を、改めてここに固くお誓い申し上げます。終わりにご参列者の皆様とともに御霊の安らかなることを心からお祈り申し上げます、御遺族の皆様のご今後のご多幸を祈念いたしまして慰霊の言葉といたします。

川根本町長 杉山嘉英 (本文より一部抜粋)



中川根忠魂碑（上長尾）での追悼式・慰霊祭



本川根忠霊塔（小長井）での追悼式・慰霊祭